

こども園で何が育つ？

～コスモスこども園の子どもたち～

別府大学短期大学部 初等教育科
島田知和

こども園で何が育つ？

～コスモスこども園の子どもたち～

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

2 「コスモスこども園」と「異年齢保育」

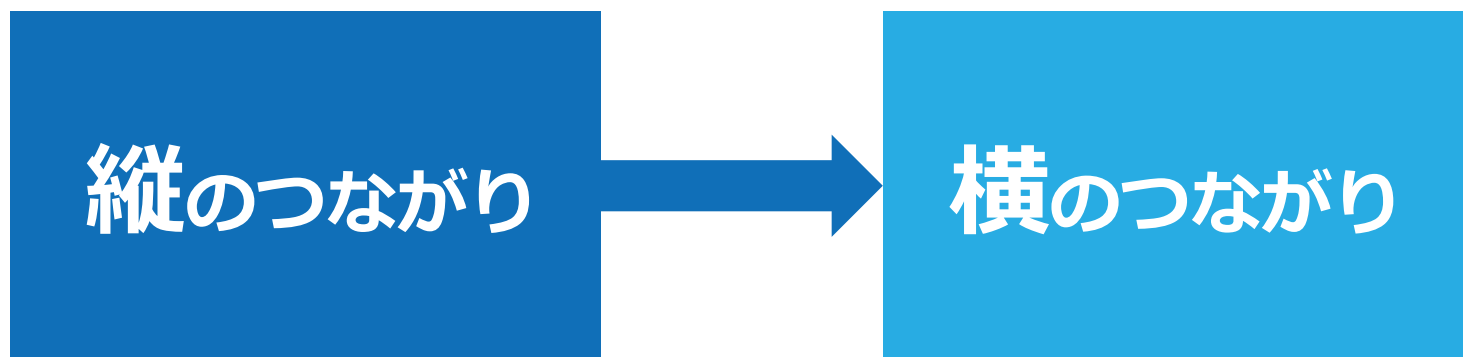
こども園で何が育つ？

～コスモスこども園の子どもたち～

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

2 「コスモスこども園」と「異年齢保育」

認定こども園や保育園等の生活は・・・



同じ年齢、同じ発達段階の子ども同士の生活が中心になる



ここに教育的な意義がある！

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

1

共感性

2

自己主張

3

協同性

初めは遠慮していた子どもたち



ふと気づけば、こんな光景です





みんなで同じポーズ！



もうみんなが泥だらけです



初めは見ていたこの子も・・・





そうです。三輪車は汚していいんです。

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち 「共感性」

楽しさを共有することで・・・

友だちと一緒にって
楽しいな！



また一緒に
遊びたいな！

友だちや先生などの他者と「一緒に」生活することの
喜びへとつながる

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち 「共感性」を育てる保育者の指導



子どもたちが遊びたくなるような環境

- ・「おもしろそう！」と子どもたちの興味を惹きつけるさりげない環境構成



一緒に楽しさを共有する保育者

- ・「あれは何？」と初めは見ていた子どもも保育者と一緒なら、挑戦できる

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

1

共感性

2

自己主張

3

協同性

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち 「自己主張」

ぼくも使いたい！



ぼくが使いたい！

「じゃあ、どうする・・・？」

子どもたちで試行錯誤して、自らの力で解決していくことが大切！



自分たちのトラブルは自分たちで解決

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

1

共感性

2

自己主張

3

協同性

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

「共感性」と「自己主張」そして「協同性」へ

まだ解決策がわからない大問題・・・！！



生活や遊びの中で生まれる

「不自由さ」 ・ 「課題」

が子どもたちを成長させる







1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

「共感性」と「自己主張」そして「協同性」へ

目的

大きな竹を部屋まで運ぶ

課題

みんな持ちたいけど、どうする？

解決策

ちょっと持ちにくいけど・・・
みんなも持ちたいよね！
よし！少しずつずれて持とう！

目的を共有して、出会った課題や困りに対して自分たちで工夫して、解決していくことが大切！

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

「共感性」と「自己主張」そして「協同性」へ



「見守る」

- 子どもは自分たちで解決する力を持っている
- 子どもを「信じる」ということが大切



そっと後押しする「ヒント」

- どのタイミングで、何を伝える？
ここに保育者の専門性
- さまざまな体験そのものが
「子どもの主体的なヒント」になる

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

世界で注目！

コスモスこども園で育つ「非認知能力」

1

難しい課題でも諦めずにやり抜こうとする
粘り強さ、忍耐力

2

「これはどう？」「良いね、じゃあこれは？」と
他者を受け入れながら、対話して協力できる社会性

3

失敗しても「大丈夫」「次は成功するよ」と
気持ちをコントロールできる自信、楽観性

こども園で何が育つ？

～コスモスこども園の子どもたち～

1 「観察」から見るコスモスこども園の子どもの育ち

2 「コスモスこども園」と「異年齢保育」

2 「コスモスこども園」と「異年齢保育」 みんなが安心して生活できる集団に

コスモスこども園

異年齢保育

「ありのままのその子」 を理解する

2 「コスモスこども園」と「異年齢保育」 みんなが安心して生活できる集団に

「〇歳児だから・・・」



同じ年齢だけど、子どもの育ち方や個性は様々

「その子」にとって「今」どのような指導や体験が
必要かを考えることができる！

より一人ひとりに合った指導へつながる

2 「コスモスこども園」と「異年齢保育」 みんなが安心して生活できる集団に

コスモスこども園 異年齢保育

1 一人ひとりに寄り添った指導

- ・ 「〇歳児のAくん」ではなく「Aくん」を見ている
- ・ そのため保育者の指導が「Aくん」のための指導となる

2 「自分と違う」を受け止め合う仲間づくり

- ・ 異なる年齢の子どもたちと「同じクラス」で生活している
- ・ ここにはさまざまな個性や発達段階の子どもが生活しており、保育者はこの「違い」を尊重、受け止め合える指導をしている

「集まれ〜！」と、ちっちゃん先生の5歳児




自慢げにきゅうりを見せる5歳児と隣で真似をする4歳児



大丈夫だよ！





入れて〜！！

いいよ〜！！



楽しい場所に、自然と集まるコスモスっ子

まだまだコスモスこども園の魅力は語り尽くせません・・・

つづく・・・